

講義科目名称： 多分野連携イノベーション

授業コード： 11105030

英文科目名称： Cross-Field Synergy and Innovation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
新藤 裕治／井川 由貴／高木 寛之／太田 研			
区分	科目番号	曜日・時限	
添付ファイル			

対象学生	全学部1年生
授業の目的	生活を取り巻くあらゆるヒューマンサービスにおける、看護・福祉・保育の専門性を持つ可能性と期待に気づき、専門知識を基盤とする新たな“付加価値”創出の必要性と他分野・他業種に発信・提供するアイデアの着想を得ることを目的とする。他分野の活動を聞き、その中の看護・福祉・教育の専門性への潜在的ニーズを導き出す。 この科目は「連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）」です。 この科目は「大学コンソーシアムやまなしの単位互換事業科目」です。
学士力A	思考力
学士力A（ウエイト）	○
学士力B	実践力
学士力B（ウエイト）	◎
学士力C	倫理・シティズンシップ力
学士力C（ウエイト）	○
学士力D	
学士力D（ウエイト）	
学士力E	
学士力E（ウエイト）	
学士力F	
学士力F（ウエイト）	
学士力G	
学士力G（ウエイト）	
学士力H	
学士力H（ウエイト）	
到達目標No.1	ヒューマンサービスに親和性の高い他分野において地域で活躍する企業・組織の取り組みや最新動向、業界のトレンドを理解できる。
到達目標No.1（学士力対応）	思考力
到達目標No.2	他分野における講義を通じて、ヒューマンサービスの専門性が他分野でどのように活かせるか考えることができる。
到達目標No.2（学士力対応）	実践力
到達目標No.3	他分野の活動からヒューマンサービスの専門性への潜在的なニーズや価値創出への可能性に対する感度を高める。
到達目標No.3（学士力対応）	実践力
到達目標No.4	関心を持って主体的に講義・GW・報告会に参加できる。
到達目標No.4（学士力対応）	倫理・シティズンシップ力
到達目標No.5	
到達目標No.5（学	

士力対応)			
成績評価の方法	評価の方法	割合(%)	評価の基準
	目標 1	30%	講義後のレポート
	目標 2	30%	講義後のレポート
	目標 3	30%	まとめの報告会の資料・プレゼンテーション
	目標 4	10%	講義の参加姿勢
授業の方法	原則として対面授業（山梨県立大学池田キャンパス）で実施する。1回目から6回目はゲスト講師による講義、7回目・8回目は報告会によるアクティブラーニングを実施する。尚、資料や講義配信についてLMSの活用やオンラインなど必要である場合は相談に応じる。		
受講に際して・学生へのメッセージ	異なる分野の中で看護・医療・福祉・保育といったヒューマンサービスに関する潜在的ニーズと付加価値創出への可能性を探る科目です。様々な大学・学部・科の枠を超え学びを共有することで考えが広がると思います。		
教科書			
授業計画の概要	1		
	タイトル	科目オリエンテーション	
	授業内容	科目の概要を説明する。	
	事前学習	科目の目的や内容をシラバスを用いて把握する。	
	事後学習	科目の目的や内容をシラバスを用いて把握する。	
	2		
	タイトル	スポーツ関連分野とヒューマンサービスと可能性	
	授業内容	ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブよりゲスト講師を招き、スポーツ関連分野において地域で活躍する企	
	事前学習		
	事後学習	講義を受けて、分野の理解とヒューマンサービスへの潜在的ニーズとの価値創出への可能性を考える。（事後レポート）	
	3		
	タイトル	保険分野とヒューマンサービスと可能性	
	授業内容	損保ジャパンよりゲスト講師を招き、保険分野において地域で活躍する企業・組織から分野の特徴、取り組み、トレンド、ヒューマンサービスへの期待について講義を受ける	
	事前学習		
	事後学習	講義を受けて、分野の理解とヒューマンサービスへの潜在的ニーズとの価値創出への可能性を考える。（事後レポート）	
	4		
	タイトル	保険分野とヒューマンサービスと可能性	
	授業内容	損保ジャパンよりゲスト講師を招き、保険分野において地域で活躍する企業・組織から分野の特徴、取り組み、トレンド、ヒューマンサービスへの期待について講義を受ける	
	事前学習		
	事後学習	講義を受けて、分野の理解とヒューマンサービスへの潜在的ニーズとの価値創出への可能性を考える。（事後レポート）	
	5		
	タイトル	建設業界とヒューマンサービスと可能性「昆虫食の一步前 ラオスの食と保健と昆虫の話」	
	授業内容	建設業界よりゲスト講師を招き、食品分野において地域で活躍する企業・組織から分野の特徴、取り組み、トレンド、ヒューマンサービスへの期待について講義を受ける。	
	事前学習		
	事後学習	講義を受けて、分野の理解とヒューマンサービスへの潜在的ニーズとの価値創出への可能性を考える。（事後レポート）	
	6		
	タイトル	建設業界とヒューマンサービスと可能性	
授業内容	建設業界よりゲスト講師を招き、保険分野において地域で活躍する企業・組織から分野の特徴、取り組み、トレンド、ヒューマンサービスへの期待について講義を受ける		
事前学習			
事後学習	講義を受けて、分野の理解とヒューマンサービスへの潜在的ニーズとの価値創出への可能性を考える。（事後レポート） 7回目のプレゼンテーションにむけて資料を作成する。		

	7	
	タイトル	まとめの報告会 1
	授業内容	これまでの講義を受けて異なる分野のヒューマンサービスに対する潜在的ニーズと価値創出への可能性についてグループになりディスカッションした内容をプレゼンテーションし、全体で共有理解を深める。
	事前学習	7回目のプレゼンテーションにむけて資料を作成する。
	事後学習	
	8	
	タイトル	まとめの報告会 2
	授業内容	ヒューマンサービスイノベーションの科目の報告会を聴講し、多分野連携イノベーションでの学びと統合して、イノベーションにおける事故の課題について考える。
	事前学習	
	事後学習	科目全体を通しての学びをレポートにまとめる。
実務経験のある教員による授業科目の概要	科目のプログラムをマネジメントしている教員は、看護・福祉・保育の分野で教育・実践の実務経験を持っている。ゲスト講師は、生活を取り巻くあらゆるヒューマンサービス分野に親和性の高い他分野において現役で実務をされており、ヒューマンサービスの重要性を理解し、自らの分野においてヒューマンサービスとのコラボレーションが新たな価値を創出し、社会への発展に寄与すると考えている。	
備考	この科目は、看護学部・人間福祉学部のヒューマンサービスイノベーションコースの科目です。コースを希望する学生は必ず履修してください。	